

事業実績報告書

様式 2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	A-04	講座名	SDG s オンラインセミナー「2030年の先を見つめる人々」
記載日		団体名・企業名	「なごや環境大学」実行委員会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

なごや環境大学には、持続可能な社会の実現を目指して前に進む人々が集っています。2030年目標のSDGs のさらに先を見つめながら活動を続ける人々はどのような考え方をしているのでしょうか？講師のみなさまの活動に関わりが深いSDGs の目標になぞらえて活動を紹介していただきました。



※写真 1 の説明	※写真 2 の説明
第4回	第10回

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

コロナ禍の中でもオンラインを活用することにより、活動を停滞することなくSDGs達成に向けた事業を展開でき、また、受講いただくことが難しかった海外含む遠方の方に向けても発信することができた。SDG s は形だけでなく継続して取り組むべき課題であり、また、2030年のゴールを目指して終わりという者でもないため、引き続き受講者一人一人の理解を深め、自分ごととして行動に結び付けられるような発信を行っていきたい。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

講師の方の説明がわかりやすく、数字で実感しながら理解することができた。
 新しい知見が得られた。
 最新情報がわかりました。
 難しいテーマを分かりやすく説明してもらえた。
 自宅で参加できる。
 実際に活動している人の話なので、わかりやすかった。
 テーマ範囲が広いので、ポイントをもっと絞って説明、紹介していただくと良かった。

●団体紹介

団体所在地	〒460-0003 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13F エコパルなごや内		
連絡担当者	事務局	ウェブサイト	https://n-kd.jp
TEL	052-223-1223	FAX	052-223-1223
E-mail	webinar@n-kd.jp	携帯電話	-
〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度)			
なごや環境大学は、「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり・人の輪づくり」を進め、行動する市民、協働する市民として「共に育つ」ことを目的とし、市民・市民団体、企業、教育機関、行政が立場や分野を超えて協働で運営するネットワークです。			

●講座開催情報

第一回	講座名	木のイノベーションで森とまちの未来をつくる	開催日	10月23日	金
	講師名	河崎泰了氏 (株式会社竹中工務店)	参加人数	65	名
	内容	低炭素社会と地方創生に繋がるまちづくりを実現する“かなめ”として期待される都市の木造・木質建築の推進を通して持続可能なまちづくりについてお伝えいただきました。			
第二回	講座名	エネルギーも地産地消	開催日	11月13日	金
	講師名	杉山範子 (名古屋大学大学院環境学研 究科 特任准教授)	参加人数	65	名
	内容	東海地方や海外の事例をあげていただきつつ、地球の気候変動に適応するために地域で取り組むべきエネルギー政策についてをお伝えいただきました。			
第三回	講座名	人と環境を守るフェアトレードな世界	開催日	11月20日	金
	講師名	加古麻理江 (フェアビーンズなごや 地球ひろば店)	参加人数	35	名
	内容	フェアトレードを意識した身近な行動や取組みで守ることができる環境や人々の生活について、実体験を元にわかりやすくお伝えいただきました。			
第四回	講座名	こども特急便 声をつなぐ場づくりと食	開催日	12月4日	金
	講師名	根岸恵子 (NPO法人こどもNPO事務局 /事業責任者)	参加人数	36	名
	内容	コロナ禍で大きく変容した、子どもたちの生活。誰一人取り残されない世界達成のために今知るべき現状と、生命維持の根源となる食の取組みについて、お伝えいただきました。			
第五回	講座名	well-being 心豊かに働く・暮らす・共に生きる	開催日	12月18日	金
	講師名	松本イズミ (フィットラボ代表/環境カ ウンセラー)	参加人数	36	名
	内容	現代社会において個々の人生を健康面と幸せから豊かにしていく方法について、環境カウンセラー・フィとセラピストとしても活躍している講師よりお伝えいただきました。			

第六回	講座名	気候変動に適応していくために	開催日	1月8日	金
	講師名	多森成子氏 (気象予報士、防災士)	参加人数	97	名
	内容	世界各地で様々な影響が現れている気候変動に対し具体的な適応策について、最新のトピックを交えながらお話しいただきました。”2100年の天気予報”も実演いただきました。			
第七回	講座名	「身近な海をきれいにしよう」	開催日	1月22日	金
	講師名	亀井浩次氏 (NPO法人藤前干潟を守る会理事長)	参加人数	62	名
	内容	ごみの埋立て計画から守られた藤前干潟の保全活動を通して見えた海の現状、SDGs目標14の達成状況を考えながら、海の豊かさとは何か、また、海を守るために今日から自分たちでできることをお伝えいただきました。			
第八回	講座名	「生き物あふれるまちを目指して」	開催日	2月5日	金
	講師名	長谷川明子氏 (ピオトップ・ネットワーク中部会長)	参加人数	74	名
	内容	都市の生物多様性重要性をお伝えいただきました。名古屋にも生物種が多いということなど、意外なデータも提示いただきつつ、豊かな環境を守ることの大切さをお伝えいただきました。			
第九回	講座名	「SDGs達成に向けた東邦ガスグループの取り組み」	開催日	2月12日	金
	講師名	肆矢直司 (東邦ガス株式会社 CSR環境部長)	参加人数	118	名
	内容	東邦ガスが取り組んでいるエネルギーや緑の環境等のトピックスについて、動画を活用しつつお話しいただきました。			
第十回	講座名	「協働」は対等で	開催日	2月19日	金
	講師名	岸田真代 (岸田パートナーシップ研究所 代表)	参加人数	71	名
	内容	企業や行政とNPOのパートナーシップを手掛けてきた経験から得られた、これからの社会に必要なことについてお話しいただきました。			